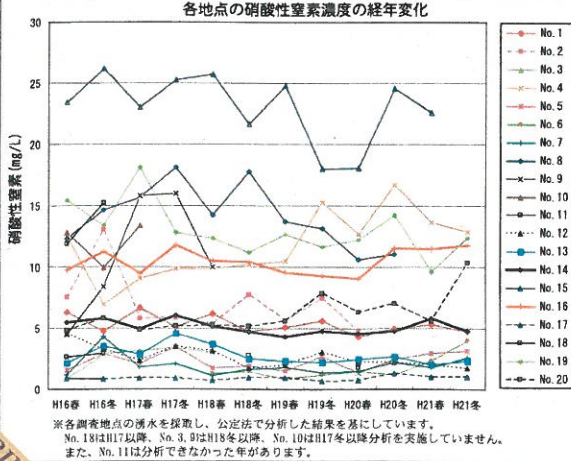
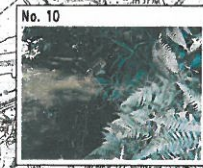
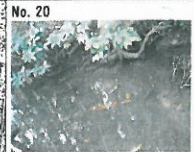
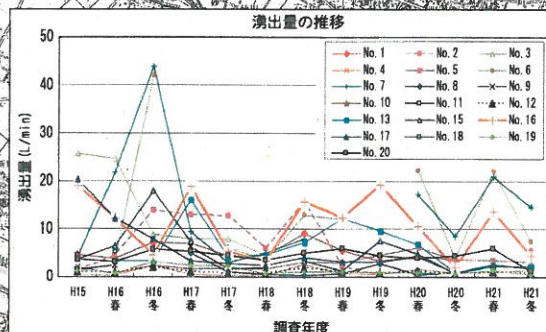


手賀沼流域

協働調査結果

手賀沼流域の各湧水地点で、平成15年度から21年度までに実施した湧水量とバックテストによる硝酸性窒素濃度調査結果の平均値をまとめました。

湧水



【硝酸性窒素】
硝酸性窒素は、水中では硝酸イオンとして存在しています。湧水の硝酸性窒素濃度が高い場合には、周辺の土壌等から、硝酸イオンが混入していると考えられます。硝酸イオンの負荷源としては、家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたものや、農地の肥料等が考えられます。地下水の環境基準は10mg/L以下（硝酸性窒素の分解過程でできる亜硝酸性窒素を含む）とされており、これを超えると好ましくありません。



※調査時期：No. 3はH18冬以降埋められ、No. 18はH16以降調査できず。また、No. 2, 6, 8, 9, 10, 11, 15について調査できなかった年度があります。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平21第4号) 手賀沼水環境保全協議会